

2021-2022年度 中期経営計画活動状況
-「2030年のビジョン」実現に向けた基盤づくり-

ZEON

日本ゼオン株式会社

代表取締役社長 田中 公章

2021年10月29日

1. 全社戦略①活動状況

2. 全社戦略②活動状況

3. 全社戦略③活動状況

4. 株主還元

2030年
のビジョン

社会の期待に応える

社員の意欲に応える

2030年に
目指す姿
(方向性)

持続可能な社会に
貢献し続ける

社会にとって
なくてはならない
製品・サービスを
提供する

「まずやってみよう」
「つながろう」
「磨き上げよう」
の行動があふれている

全社戦略

1

2

3

2030年に目指す姿 から 3つの全社戦略を立案

全社戦略

要となる方策 (2021-22)

2030年の目標値

1

カーボンニュートラルとサーキュラーエコノミーを実現する「ものづくり」への転換を推進する

2050年を見据えたカーボンニュートラルマスタープラン策定

日本化学工業協会の指針等を踏まえ 今後設定

2

既存事業を「磨き上げる」

高機能樹脂と電池材料の強化

SDGs貢献製品の売上高比率 **50%**

新規事業を「探索する」

既存SBUの勝ち残り

既存事業 ROIC **9.0%**

3

「舞台」を全員で創る

重点分野を定めてリソースを集中投入

新規事業 売上高 **+600**億円
(2019年度比)

より多くの人生の選択肢を提供

従業員エンゲージメント **75%**
外国人/女性役員比率 **30%**

全社戦略

要となる方策

2030年の目標値

1

カーボンニュートラルと
サーキュラーエコノミーを
実現する「ものづくり」
への転換を推進する

2050年を見据えた
カーボンニュートラル
マスタープラン策定

日本化学工業協会の指針等
を踏まえ 今後設定

2

既存事業を
「磨き上げる」

高機能樹脂と
電池材料の強化

SDGs貢献製品の
売上高比率 **50%**

新規事業を
「探索する」

既存SBUの勝ち残り

既存事業
ROIC **9.0%**

重点分野を定めて
リソースを集中投入

新規事業 売上高
+600億円
(2019年度比)

3

「舞台」を全員で創る

より多くの人生の
選択肢を提供

従業員エンゲージメント **75%**
外国人/女性役員比率 **30%**

全社戦略

要となる方策

2030年の目標値

1

カーボンニュートラルとサーキュラーエコノミーを実現する「ものづくり」への転換を推進する

2050年を見据えたカーボンニュートラルマスタープラン確定

日本化学工業協会の指針等を踏まえ 今後設定

2

既存事業を「磨き上げる」

高機能樹脂と電池材料の強化

SDGs貢献製品の売上高比率 **50%**

新規事業を「探索する」

既存SBUの勝ち残り

既存事業 ROIC **9.0%**

重点分野を定めてリソースを集中投入

新規事業 売上高 **+600**億円
(2019年度比)

3

「舞台」を全員で創る

より多くの人生の選択肢を提供

従業員エンゲージメント **75%**
外国人/女性役員比率 **30%**

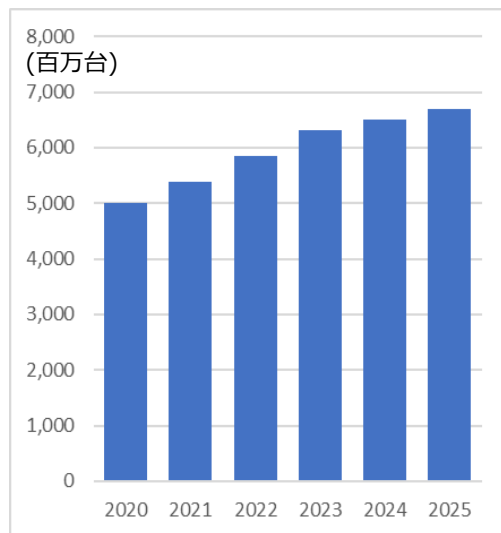
要となる方策

高機能樹脂の強化

成長市場を牽引するタイムリーな能力増強投資

- 水島工場生産能力増強
- 年間生産量：41,600 トン (2021年7月完工)

スマートフォンカメラモジュール台数



プレフィルドシリンジ本数



レジリエンス強化*

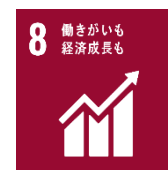
- 新たな生産拠点の検討推進
BCP観点も含め検討中
(高機能樹脂プラント)



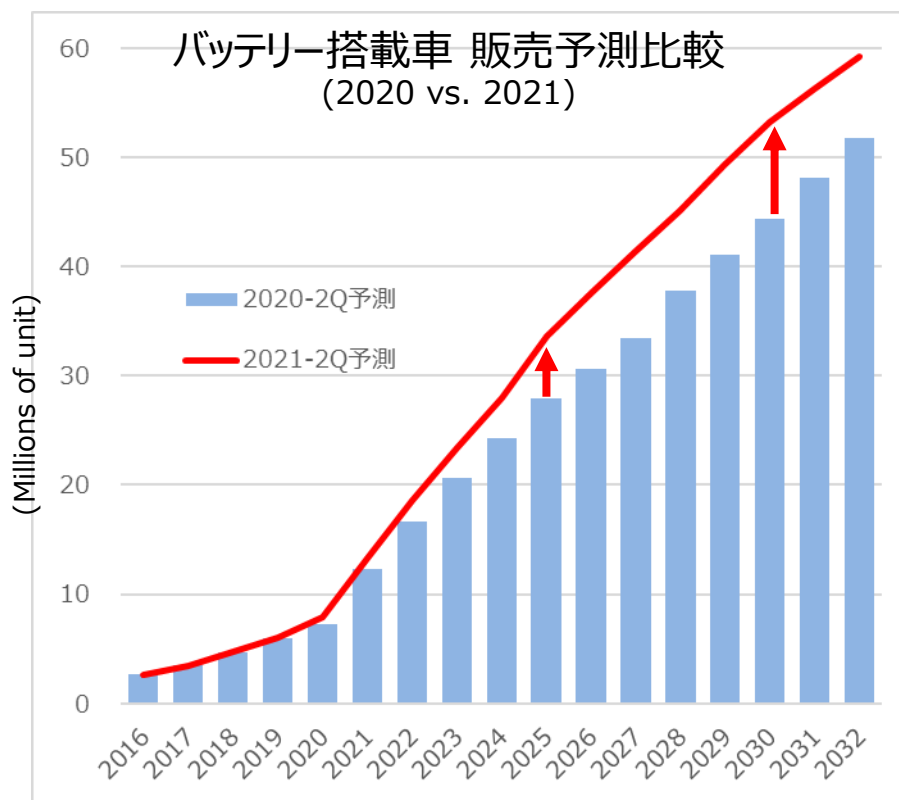
* 災害や事故等により致命的な被害を負わない強さと、速やかに復旧させるしなやかさを強化

要となる方策

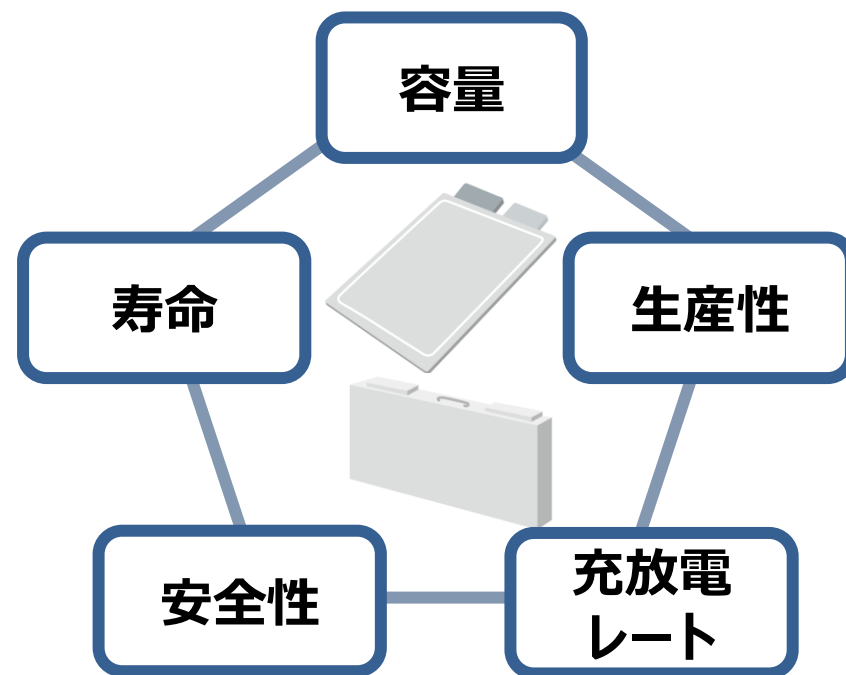
電池材料の強化

5大性能向上に貢献する
新製品群を成長市場に投入

想定を上回るEV市場の伸び



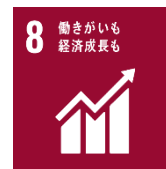
高付加価値品の市場投入



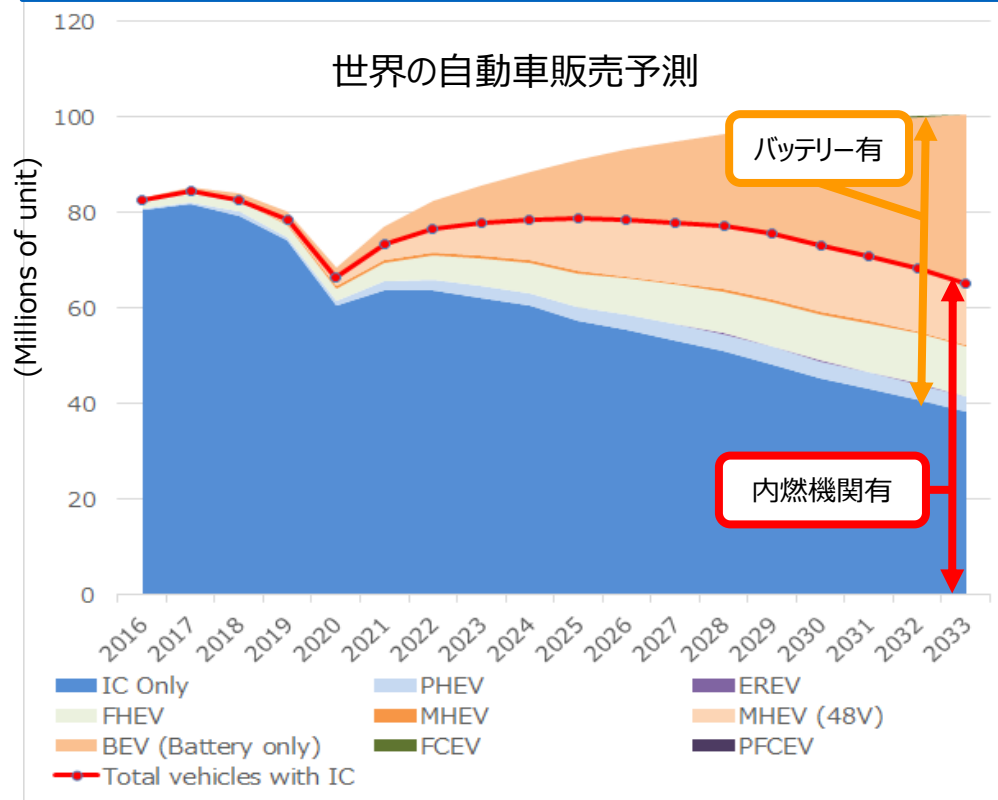
要となる方策

既存SBUの勝ち残り

エラストマー事業：ゴム



パワーソース別 自動車販売台数推移予測



出典：LMC Automotive Global Hybrid and EV Forecast***Quarter 2, 2021

アクリルゴムシェアトップの維持

- 4拠点目（タイ）2021年8月商業生産開始
- ◆ Zeon Chemicals Asia Co., Ltd. (5,000トン/年)
 - ◆ 世界4拠点で生産能力22,000トン/年

EV化進展に向けての注カポイント

- ◆ 特殊ゴム市場シェアの継続拡大
- ◆ EV化によって生まれる新需要取り込みと新製品の開発
- ◆ グローバル拠点における生産の効率化と生產品目の最適化

要となる方策

既存SBUの勝ち残り

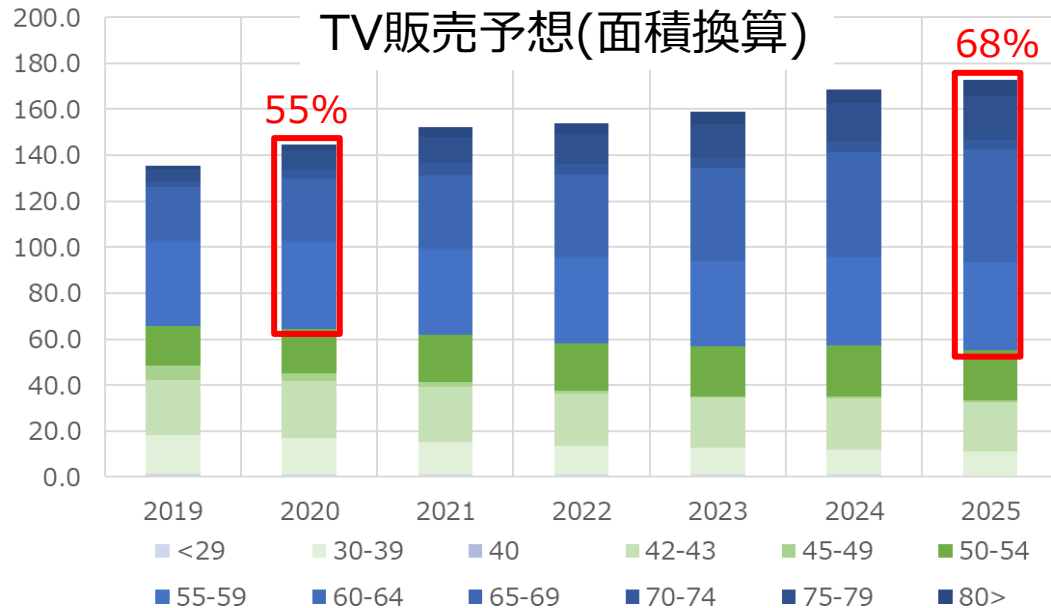
高機能材料事業：光学フィルム



TVの大型化に対応

2500mm幅フィルムライン増設決定（10月28日リリース）

当社フィルムへの需要は引き続き拡大



出展：OMDIA（2021/7月セミナー）データを、当社にて面積ベースに変換

- 場所=敦賀工場内
- 生産能力=5000万m²/年
- 着工=2022年4月
- 本生産開始=2023年10月予定



敦賀工場

要となる方策

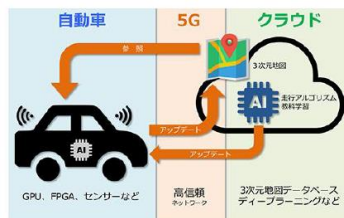
重点分野を定めて
リソースを集中投入

医療・ライフサイエンス



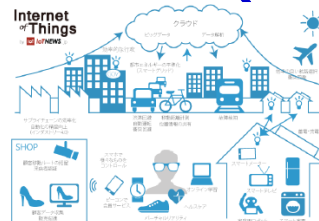
出典：厚生労働省HP

CASE・MaaS



出典：経産省CASE技術戦略プラットフォーム

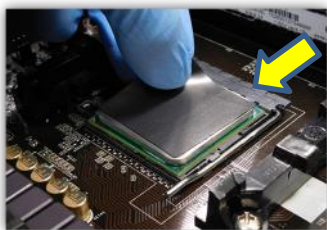
情報通信 (5G/6G)



出典：IoT NEWS「スマートシティ(Smart City)とは」

高熱伝導放熱材料 (TIM) 生産開始

◆ VB200 = 熱伝導率 (Z軸) 38 W/m・k



半導体業界における
熱マネージメント課題解決に
貢献期待



省エネルギー



出典：資源エネルギー庁 再生可能エネルギー
固定価格買取制度ガイドブック

オープンイノベーション活動を推進

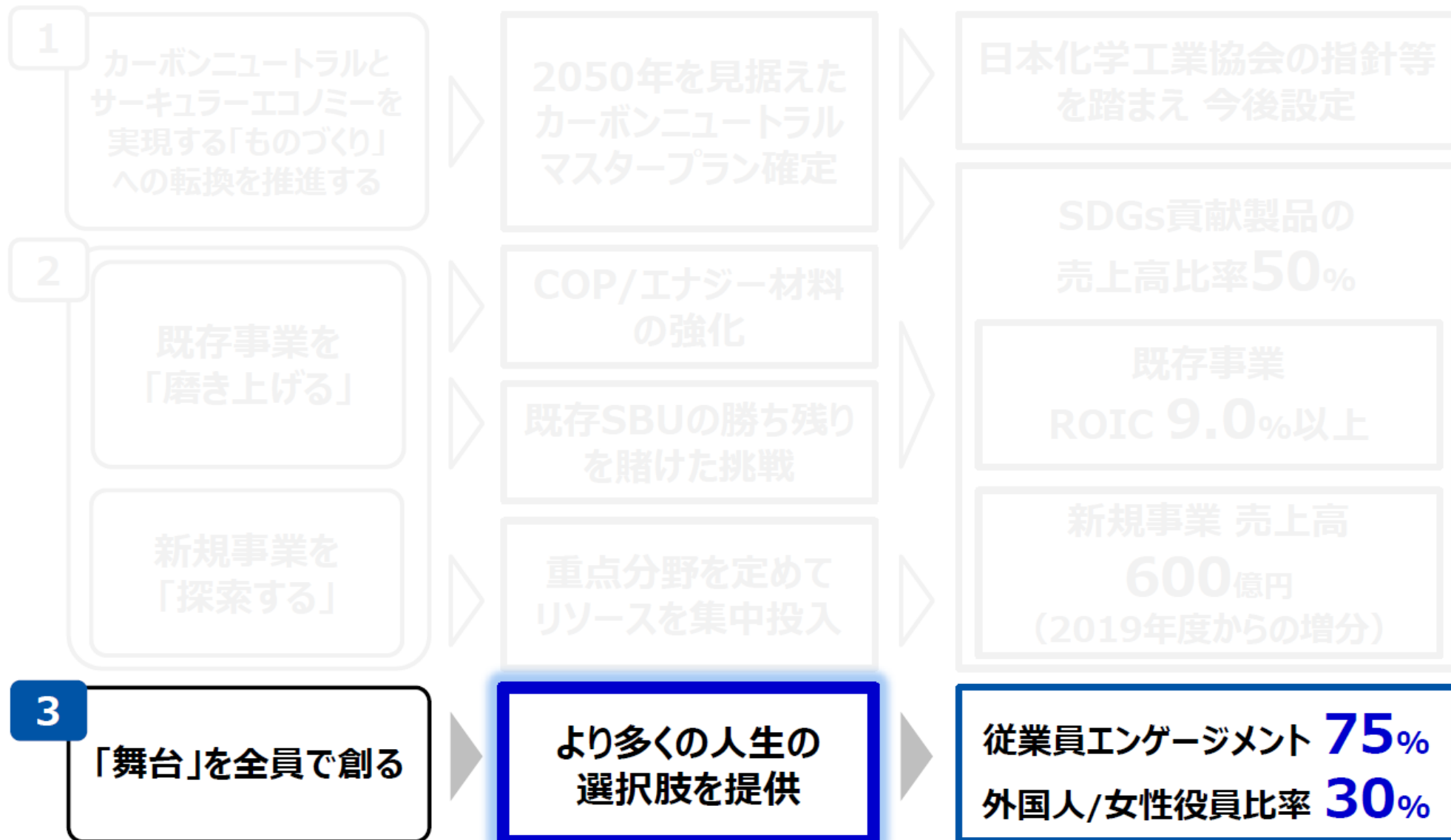
◆ 東京大学子会社 (東大IPC) が主催する
スタートアップ育成プログラム「1stRound」に
パートナー企業として参画



全社戦略

要となる方策

2030年の目標値



DI&B※活動の中軸に据え、従業員エンゲージメントを向上

※ Diversity, Inclusion and Belongings

2021年度

2030年度

従業員
エンゲージメント指数

52%



75%

ZEON

JP/EN

DI&B Week について

プログラム
タイムスケジュール

DI&B とは？

DI&B Week
動画

D&I 推進プロジェクト
について

プロジェクトオーナー
からのメッセージ



女性が活躍できる環境を再整備し、自律的なキャリア醸成を支援

2021年度

女性従業員比率

13%

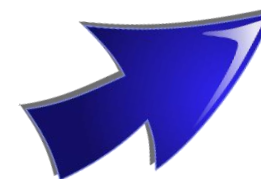
うち管理職比率

4%

外国人/女性役員
対象母数向上**環境を再整備**

- ・時間と場所に捉われない働き方
- ・育児、介護支援策
- ・キャリアデザイン
- ・福利厚生制度見直し等

【2021年度配当金予想、単位：円】



安定的に持続的な
配当政策を継続
(方針に変更なし)

**2021年度の配当金予想は、中間期末13円 (+1円)、
期末12円の年間25円配当予想に修正 (対前年度+3円)**

以上

本資料に掲載されている当社の計画、見通しなどは現在入手可能な情報に基づき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は様々な要因により、異なる結果となる場合があります。

ZEON